

新型コロナウイルス感染症を踏まえたイベント等の実施ガイドライン

2020 年 7 月 13 日 (ver. 1.0)

一般財団法人 沖縄 IT イノベーション戦略センター

新型コロナウイルス感染症を踏まえたイベント等の実施に関して、参加者に対して感染症予防を持続的に行うための「新しい生活様式」の徹底により一人一人が対策を行うことを促し、人の集まる空間に病原体が持ち込まれることを最小限にするとともに、もし持ち込まれたとしても集団内で二次感染が起きるリスクを最小限とするため、一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センター（以下「ISCO」という。）が主催するイベント等についての実施方針を定める。

県内における新型コロナウイルス感染症の流行状況等を踏まえ、適宜本ガイドラインの見直しを行うものとする。

なお、受託事業等の実施に伴って開催するイベント等について、委託者等からの指示がある場合にはこの限りでない。

1 対象

ISCO が主催する会議、研修、セミナー、講演会、商談会等

2 開催判断の目安

沖縄県が策定した「新型コロナウイルス感染症に係る沖縄県主催イベント等実施ガイドライン」の基準を開催可否判断の目安とする。

3 イベント等の企画にあたっての留意事項

イベント開催を企画する場合には、主催者は以下の 6 つの項目について、感染リスクの評価を行い、必要な措置を講ずることとする。

なお、必要な措置の類例は別表 1 のとおりとする。

- ① 開催規模（参加人数、参集範囲）
- ② 開催場所（換気の状態）
- ③ 開催期間・時間（同一空間での滞在時間）
- ④ 参加者同士の距離（近距離又は対面）
- ⑤ 参加者の特性（高齢者や基礎疾患を有する者）
- ⑥ 不特定多数か否か

4 ご来場の皆様へのお願いについて

(1) 事前の体調チェックについて

次の項目に該当する方に対して、イベントへの参加自粛をお願いする。

- ① 発熱の症状がある方（体温37.5度以上）
- ② 風邪の症状のある方

- ③ 過去14日間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をした方
- ④ 感染拡大している地域や国への訪問歴が14日以内にある方

(2) 高齢者や基礎疾患をお持ちの方について

これまでの新型コロナウイルスの感染症の傾向から高齢者や基礎疾患をお持ちの方が感染した場合に症状の重篤化が見られることから、イベント通知やチラシ等を活用し、こうした方が体調に不調がある場合は、積極的にかかりつけ医や保健所に相談するようお願いする。

(3) 会場内での参加者の行動ポリシー等について

以下の①～⑦の対策について協力を求める。

- ① 入場登録（連絡先の把握）の実施
- ② マスクの着用
- ③ 会場入口・会場内に設置したアルコール消毒液による手指消毒の実施
- ④ 咳エチケットや手洗いなどの実施
- ⑤ 近距離での会話や発生の回避
- ⑥ 参加人数や参加方法に応じて可能であれば検温の実施
- ⑦ 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の利用奨励

5 ISCO 職員の対応について

「4 ご来場の皆様へのお願いについて」で記載した対応を必ず行うこととする。

6 イベント等開催後感染が発生した場合の対応について

人が集まる場に参加した者の中に感染者がでた場合には、その他の参加者に対して連絡を取り、症状の確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡がとれる体制を確保する。

参加した個人に対しては、保健所などの聞き取りに協力する、濃厚接触者となった場合には、接触してから14日間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性があることについて通知する。

別表 1

① リスクアセスメントとリスクマネジメント		
感染源		自宅で体温を測定し発熱していたら自宅待機 入場者の登録、人数制限 入場時の手指消毒(持ち込み対策)
感染経路対策	接触感染対策	入場時の手指消毒(持ち込み対策) 定期的な手指衛生 環境の清掃(手が触れる場所)
	飛沫感染対策	距離(1m、できれば2m)を離す工夫 発声の機会を減らす(マスクの着用) 咳エチケット 参加者が接近しづらい動線の設定 集まる場所(昼食場所)の時差利用 同一スペースにいるスタッフ・参加者の制限 小まめな手指消毒の実施
	エアロゾル・空気感染	定期的な換気 頻繁に換気
② 特徴的なクラスターに対するリスクマネジメント		
感受性と感染源	密閉空間なら換気を良く	換気設備の点検 ※ 可能な限り2カ所以上の開口部を使用することで効率よい換気が実現
	多数が手の届く距離に集まらない	入館する人員の管理、制限 入退場に時間差を設ける 動線の工夫
	近距離の会話・発声なし	大きな発声をさせない環境→無観客 参加者同士の一定距離の確保
その他	食事及び軽食の個包装化(トングなどを使わない) 手指消毒等の手指衛生をするための資機材を身近に配備 飲食エリアに入る前の手指消毒確認又は手指消毒の徹底	
③ クライシスマネジメント		
積極的疫学調査の備え(連絡先が確実な参加者名簿の作成) 濃厚接触者となり自宅待機要請がなされた場合への備え(事前説明、調整) 参加者の移動の記録化(例:航空機の座席番号等)		